

9-10

活動についての取り組み

より充実した生活を送れるために

外出活動

意識改革

しせいとくへつようごろうじん
至誠特別養護老人ホーム

ケアワーカー 中島 祥大

立川市錦町6-28-15

TEL : 042-527-0061

E-mail : nishiki-tokuyo@shisei.or.jp

FAX : 042-527-0032

URL : <http://www.shisei.or.jp/>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

平成7年に「グループホームしせい」は、全国に先駆けグループリビングケアを実践し、全社協・厚生省のモデル事業として、複数の行政から委託研究や補助を受け多方面から注目された。現在、至誠特別養護老人ホームの10名のお年寄りがグループリビングでの生活を送っている。

〈取り組んだ課題〉

- 夕食作り、朝の味噌汁作りの再開
- 外出活動の計画と実施
- 施設内での活動の実施
- 職員の活動を提供していく意識とその向上

〈具体的な取り組み〉

- 午前中のお茶の時間に献立を利用者と一緒に考え決定する。(2日~3日分)
 - ・ 献立を元に近所のスーパーへ週3回、買い物に出かける
 - ・ 午後、夕食の下準備開始

○活動の計画と実施

- ・ グループでの活動
花見、端午の節句、夏季ビアガーデンパーティー、お月見会、畑に行きじゃがいもやさつまいもの収穫、味噌作り、もちつき、ベランダでの食事 など

・ 少人数での活動

デパートや大型スーパーで買い物、初詣、ホーム内の喫茶店に出かける、近くの川にピクニック、おやつ作り、散歩、貼り絵など作品の製作 など

・ 個別での活動

歌舞伎の鑑賞、ホテルでの食事、外食、ベランダを利用した家庭菜園 など

〈活動の成果と評価〉

- 今まで、なかなか外に出る機会がなかったが活動を始めることで外気に触れる事が多くなり良い刺激になっている
- 外出活動など活動中の写真をとりフロア内に展示する事で思い出として残り、思い出話ができることもある
- 活動を行う場合にも、その日の状況判断で出来る活動を意識するようになった。季節感のある活動を提供し、利用者と職員が一緒に楽しめる
- ご家族やボランティアの参加を求めるところで交流や協働をはかることができた
- 利用者の趣味嗜好、ADL に合わせた活動の提供が次第にできるようになった
- 車や交通機関を使った活動時の簡単な安全マニュアルを作成したことで移動などがスムーズに行えた
- 活動に使う物品などの準備や収納などの環境整備
- 貼り絵などの作品をフロアに展示することで温かみある環境になった

〈今後の課題〉

- 外出活動の企画を早期より企画し、ご家族やボランティアとの交流・協働を図る。
- 少人数・個別で行える活動を定期的に行い利用者・職員共に活動への意識を高める。
- 活動を効果的に行う為に、ベランダを土に触れる機会の場所として活用したり、利用者との散歩等を通して楽しめる場所を地図化するなど、効果的に活用できるようにしていく。